

まちづくり協議会の支

地域づくり団体等支援事業の活用事例

《フードトラックマーケット in 笹川流れ》



①販わう会場



②山葡萄サイダー



③赤かぶカレー

イベント開催にかかる会場使用料や臨時営業許可手数料、チラシの印刷費等について費用の約7割を支援しました。

**地域づくり団体等
支援事業としての支援**

「フードトラックマーケット」は、食と笹川流れを合わせて、新たな観光スタイルの創出を目的に、山北フードツーリズム委員会が主催し、桑川地内にある弁天岩駐車場を会場に7台のキッチンカーが出店しました。

キッチンカーの各店舗には、山北食材を使ったメニューも提供され、地元食材の魅力を発信しようという取り組み。山北地区内外から700名が来場して、山北食材を使ったメニューを堪能し、行列ができるほどの賑わいで、全て完売しました。

《震災復興ウォーク》



①イベントスタート



②楽しくウォーキング



③防災意識啓発のため法被を着用し園児も参加！

地域づくり団体等
支援事業としての支援

イベント開催にかかる防災グッズやチラシ、記録の送料等について費用の約7割を支援しました。

新潟・山形地震の災害の怖さや教訓を忘れず、防災意識の向上と体力づくりの習慣化による健康づくりを目的にNPO法人さんぽくスポーツ協会が主催し、昨年に引き続き開催されました。

参加者は震災の日に合わせたイベントで防災の大切さを再確認しながら、多目的グラウンドや総合体育館走路をウォーキングやランニングにより走破しました。

2年目の今年は、園児が防災法被を着用して参加し、参加者には手回し式のハンデライトを配布するなど、防災意識向上へつなぐ取り組みとなりました。

地域の学びは人材育成

小中学校における地域の学びを支援

《さんぽく小学校、山北中学校における地域学習》



①日本国太鼓体験



②山菜採り体験



③清水散策



④しな布体験



⑤田植え体験



⑥稲刈り体験



⑦地場産物（鮭など）を使った調理、防災食づくり体験

まちづくり協議会ではさんぽく小学校と山北中学校で地域を学ぶ取り組みを人材育成のひとつと位置づけ、取り組みに関する費用を支援しています。

地域を学び考えることは、今後の山北地区を支える子どもたちの財産となり、その子どもたちは未来の地域にとって大切な存在です。子どもたちが地域に誇りと自信を持ち、山北で活躍したいと思えるよう、今後も支援を継続する予定です。保護者の皆さん、地域、学校の連携が子どもたちの郷土愛を育みます。

※写真の場面
さんぽく小学校

各種体験(①～⑥)

山北中学校

各種調理体験(⑦)